

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集 令和6年11月15日（金）午前10時

出席委員（8名）

（委員長）又 野 史 朗 （副委員長）大 下 哲 治
稲 田 清 門 脇 一 男 田 村 謙 介 徳 田 博 文
錦 織 陽 子 吉 岡 古 都

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松田局長 田村事務局次長

傍 聴 者

報道関係者0人 一般0人

協議事件

- 1 意見交換会テーマ（素案）について
- 2 市議会だよりについて

~~~~~

### 午前11時28分 開会

○又野委員長 広報広聴委員会を開会いたします。

そうしますと早速ですけれども、協議事件1、意見交換会テーマ（素案）について御協議をいたします。事務局のほうから説明をお願いいたします。田村次長。

○田村事務局次長 そうしますと、意見交換会テーマ（素案）について御説明させていただきます。11月の5日に作業部会のほうを開催いたしまして、意見交換会テーマ（素案）について御協議をいただきました。あらかじめ各委員さんのほうから所属する常任委員会につきまして案を提出いただいたものを皆さんで見てくださいまして、御協議をいただきました。内容といたしましては、まず、各常任委員会とも2候補に絞り込むということで選んでいただいております。その際に、重複している内容があるものにつきましては、例えば総務政策委員会で行きますと2番と3番、それから都市経済委員会で行きますと、7番と8番につきましては1提案として捉えまして、2候補に絞り込んでいこうということで協議をいただいております。結果といたしましては、左側ですけれども、薄いピンクで色づけしておりますけれども、そちらの案のほうで絞り込みをしていただきました。その際にですけれども、テーマにつきましては、何々について考えようということで統一をするということになりました。それから、皆さんが討論しやすい、意見交換しやすい題にということで、若干、いただいた案のところを題名というか、題目を変えられたものもあります。

結果といたしましては、総務政策委員会につきましては、「まちなかウォークブルについて考えよう」、それから「移住定住について考えよう」の2候補となりました。それから民生教育委員会につきましては、「子育て支援策について考えよう」、それから「投票率について考えよう」ということになりました。都市経済委員会につきましては、「人手不足が深刻！これからの働き方を考えよう」、それから「公園の利活用について考えよう」と、この2候補に作業部会のほうでは決定されました。

それから2番目、議会報告会タイトルについてですけれども、皆さんが参加しやすいようにタイトルを考えようということになっておりましたけれども、又野委員長のほうから2つ提案がありまして、「議員と語ろう」、それから「議員と生トーク」と、2ついただいたんですけれども、作業部会のほうでは「議員と語ろう」というふうに、こちらのほうで決定をされております。

それぞれ意見交換会のテーマ、それから議会報告会のタイトルにつきまして、この作業部会の協議結果を踏まえまして、皆さんのほうで御協議をいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

**○又野委員長** 以上、説明がありました。3つの常任委員会にですね、広報広聴委員会からこのタイトルで提案するという内容になるんですけれども、作業部会で今回このようにまとめさせてもらったことで、各常任委員会に提案していいのかどうなのかというところなんですけれども。もし意見があれば、これでいいという話でもいいですけれども、お願いいたします。特に異論はありませんか。

吉岡委員。

**○吉岡委員** 内容についてはこのテーマでいいかなと思うんですけど、市民の方に発信するときに、なるべく行政用語みたいなものは使わないほうがいいのではないかなと思います。ぱっと見て、ウォーカブルっていても多分それが分かってる市民の方ってほとんどいらっしやらない。歩きやすいとか、歩いて楽しいとかのほうに分かりやすいし、移住定住とか利活用という言葉が、何か行政の境界の言葉だからちょっとピンとこられないのかなっていうふうには思うので、なるべくもうちょっとかみ砕いた言葉に。どうしても移住定住って言ってしまうと、移住定住策を考えるみたいな形になると思うんですけど、そうではなくって、やっぱり市民の方と意見交換をするのであれば、移住定住だったら、じゃあ自分が、米子市のここがいいから住んでみませんか、どのように進められるか、そのためにはどうしたらいいかっていうふうになるけど、何かこう「移住定住」ってしてしまうと、米子市の移住定住策がいいかどうかみたいな話になってしまうのは、意見交換としては何か違うのかなっていうふうに感じるんですけど。ほかの方がどういうふうに思われるか分かんないんですけど。

**○又野委員長** ほか何か。田村委員。

**○田村委員** 吉岡委員のおっしゃるのもよく分かるんですけども、私も作業部会でいろいろ考えたんですけども、結局、落としどころとしたら米子市が今進めてるというものについて理解していただきたいという背景があるんじゃないか。要は市民の方が思いの丈で好きなことを言ってくれるんじゃないかって、やはりそこは整理して、今進捗中の事業をまず分かっていたく。例えば先日の「ほこみち」なんかもウォーカブルの一環だったりとか、そういったものもぜひ知っていただきたいということもあるので。例えばウォーカブルなんていうのは、皆さんピンとこないけどこういうことなんですよというのを付して会を進めれば問題ないのではないかなというふうに感じますのと、あと公園利活用についてもなんですけども、どうやって今、放置状態っていうんですかね、誰も使わない都市公園結構ありますけれども。それをどうやって皆さんで、どうすれば行きますか、どうすれば活用できますかね、というようなことを問うということであれば、もうこれしかないのかなというふうには感じます。これは私の意見です。

**○又野委員長** ほかに何か御意見はございますでしょうか。吉岡委員。

**○吉岡委員** 田村委員が先ほど、使っていない公園の活用ということで利活用と言われたんですけど、もうそうなってくると、そういう、そこに絞ってしまったほうがいいのかな

っていうふうには思います。使っていない公園をどうするか考えようみたいな、もうダイレクトにしないと。前回やった印象では、広いテーマでも結局は絞って話さないと時間が短いので、十分な意見交換にならないなっていうのがすごく印象があったので、なるべくテーマを絞っておいたほうが市民の方も意見が言いやすいし。なので、私達の班は非常に活発な意見交換になったんですけど、そのときは「住民自治と公民館の在り方」っていうすごく広いテーマだったんですけど、住民の方の意見に基づいて、公民館と住民のつながりっていうところにテーマを絞ってやると、すごく意見交換が活発になるんですけど、多分班によっては割と散漫な意見交換になったところもあったのは、やっぱテーマが広すぎると、まずじゃあこういうものですよって説明のところから入ってしまうと、なかなか深い議論にならない、意見交換にならないっていうところがあるのかなと思うので、もう本当に、確かに田村委員のおっしゃるとおりに、放置されてる公園とかあって私も気になっているので、そこに関して意見をいただくんだったら、もうそういうふうにしてしまったほうが。あまり広くしないほうがいいのかっていうふうには、前回のを通じて思っているところです。

**○又野委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** まちなかウォークブルって何？っていうふうにも私も思っていましたので、これでぱっと出されると確かに、もうこんな訳の分からんのは参加しないわっていうことにも。ぱっと見て説明がないといけないのは、やっぱり参加したいっていうふうには思わないかもしれないのと、でも田村さんが言われるように、米子市がしようとしている事業を理解してもらいたいと、理解を深めているいろんな意見も言ってもらいたいっていうその気持ちも両面あるんですけど、そういうことだと、誰もが歩きたくなるまちづくりについてって、括弧、まちなかウォークブル事業とかね。何かそういうふうには説明が要るようなことになってしまうしなあ、どうがいいかなと思って。私も今これ言いながら、どっちがいいですっていうふうにはちょっと決定がしづらいと思ってますけど。ただ、まちなかをウォークブルについて考えようというふうに出たときに、やっぱりちょっと理解がね、しにくい。まあ英語で、何ていうの、英語なのか、このウォークブルっていうのは何？日本語の造語なんでしょ。だから余計分かりにくいっていうのがあるのかもしれない。それから公園のことについては、利活用っていうことだったらちょっとあんまり面白くないかなっていう感じはしますね。はい。ていうようなことで。

**○又野委員長** 大下委員。

**○大下委員** この「誰もが」っていうのが、初め自分が考えたのが、いろんな人が歩いてもらえる、ウォークブルって歩くことが重要な政策だと思うんで、それで、それにどうやって、どういう、いろんな方面から入ってもらって、考えてもらえる、観光とか地域促進とか健康とか、いろんなほうから意見が出るようになっていうのでちょっと「誰もが」っていうふうな感じで作った次第です。それで田村委員と吉岡委員のお2人ともおっしゃることも十分分かるんですけど、やっぱり何かそこに聞いた人が分かりやすいっていうか、錦織さんも言われたんですけど、委員も言われたんですけど、やっぱり聞いて、それで何か自分も意見言ってみたいっていうふうなタイトルのほうがもっといいのかって自分は思います。

**○又野委員長** そうしますと、いろいろ意見が出ましたので、ちょっと私の提案として、各常任委員会には取りあえずこれで提案して、今出た意見を付して、タイトルについては変更、それぞれの常任委員会で必要だとなったら、しても構いません。もともと常任委員会で決定するもんなんで、そういうやり方でもいいのかなと。今ここで何かちょっとまと

まらないような気がしましたんで。どうでしょうか。

〔「いいと思います。」と声あり〕

○**又野委員長** 稲田委員。

○**稲田委員** 黙っておこうと思いましたが。委員長がまとめられたのに異論はないんですけど、一応確認で、項目はいいですよ、皆さん。ね。項目はいいですよ。

○**又野委員長** はいはい。いうことでいいですね。

○**稲田委員** 要はタイトル。で、そうすると委員会ごとにタイトルがいろんな趣向を凝らしたのが出てくると、多分統一感がなくなるのを危惧するので。例えばですけど、まちなかウォークブルだったら、「まちづくりを考えよう」ってして、括弧でウォークブルって書くとか。何かの雛形を作って、雛形まで言い過ぎかな。何かそこバラバラで、最終的には市民の方に議会だよりとかに載せて公募しますよね。だから、あるところはもう5文字ぐらいで終わって、あるところは2行ぐらいにまたがってみたいなことを危惧しての発言でした。最後、だから最終的には委員長のほうで預けて調整するとか何とかも付しておられる。委員会完全任せがいいかどうかってのはちょっと不安に感じたということです。はい、以上です。

○**又野委員長** なるほど。そうすると、またちょっと提案ですけど。今出てるので言えば、メインの話としては、まちなかウォークブルと公園の利活用のところかなって感じがちょっとして。そこについて、こういう提案内容をそれぞれ常任委員会に、変えようかっていう何かちょっとまとめられるようであればちょっとまとめて、まとまらないようであれば、取りあえずこのテーマで常任委員会に付したいと思いますけれども、そうするとまちなかウォークブルと公園の利活用についてというところで、こういうテーマに変えたらいいんじゃないかっていうもし御提案があれば、それでまとめれば、ちょっとタイトルを変えて常任委員会に提案してもいいかなと思うんですけどね。もしなかったらもうこのまま、取りあえず提案は。っていうふうにしたいと思いますけれども、何か御意見はありますか。

徳田委員。

○**徳田委員** 先ほど委員長が言われたように、まずはこれで出してやればいいと思います。せっかく作業部会で協議された結果っていうこともございますんで。それをやっぱり度外視すると、何のための作業部会だったかっていうのもやっぱりありますし。

○**又野委員長** 門脇委員。

○**門脇委員** 私もそれでいいと思っております。稲田委員が言われたことも各常任委員会でだーっと長いのと短いのがあったりするので、やっぱりそこはまた出た3つの題をここに持ち帰ってきて、一応統一するように。あまり短かったり、あまり長すぎたり、いいところでまた皆さんで。委員長だけでもいいんですけど、一応この会で持ち帰って、みんなでもまた、これがいいじゃないかっていうことを協議して最終決定するっていうほうがいいんじゃないでしょうかね。

○**又野委員長** なるほど、なるほど。そうしますと、稲田委員の意見、統一感も出るように、一応、何々について考えようとか、最後は「考えよう」っていうようには統一をしてもらって。そしてそんなに長くもならないようにっていう意見も付して常任委員会に一応このテーマでかけるという、今日出た意見を同時に伝えてということできたいと思いますけれども。で、最終的な決定が、これまでは常任委員会で、でもこのテーマは決定しましたよね。田村次長。

○**田村事務局次長** どちらの2候補を提示して、どちらのテーマでいかれるのかっていう

ところは、最終的には常任委員会で決定はいただくということになると思いますけれども、そのテーマの題目というか、そういったところの統一というか調整みたいところは広報広聴でもいいんじゃないのかなというふうには思いますけれども。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 最初から私もそのように言えばよかったんです。項目を委員会で決める。これは委員会。で、吉岡委員のような意見もあるので、この名前でもいいか、あるいは、より市民の方に伝わるような表現があれば、それも委員会から提案いただきたい。最終的には広報広聴委員会でちょっと文言、まあ文言整理がまた行政用語だけ。まあ言葉のちょっと調整をさせてもらう場合もあるので、その際は御容赦くださいと言っておけばいいんじゃないでしょうか。以上です。

○又野委員長 なるほど。では、このテーマで常任委員会に諮って、今日出た意見も伝えて。最終的には、最後の調整は広報公聴委員会でテーマのタイトルは決定するというところでこの件についてはいきたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○又野委員長 ありがとうございます。

次にですね、想定される団体例っていうので幾つか。作業部会のほうでこれもすればよかったですけども、ちょっとやってなかったもので。ここで、あくまでも例として挙げるということにはなると思いますんで、挙げていただけたらと思うんですけども。もしあれだったら、提案されたまちなかウォークブルのところでしたら大下さん、田村さんのあたりで。

大下委員。

○大下委員 自分としては、健康と地域づくりと学校とかという、そういう教育とかいうので各分野ごとに分けて参加していただけたらと思うんですけど。例えば健康だったら、地域、永江…（聞き取れず）…例えば、例えばじゃないですけど団体さんみたいな、高齢者の自治会活動に取り組んでおられる団体さんとか。まあでもこれ、地域づくりもなのか。まあそういった分野、ちょっと具体的なのが出てこないんですけど、観光、例えば地域づくり、健康とかっていうと、そういった団体に声かけしたらどうかっていうふうに思いますけど。

○又野委員長 田村委員は。

○田村委員 私も似た考えなんですけども、基本、僕はもうウォークブルというふうに通っちゃってる人間とすると、やはり歩いていただく人はじゃあ誰かということなんですけれども、今、大下さんおっしゃったように、例えば高齢者だったりとか、行く行くはその健康寿命増進だったりとか民生費圧縮だったりとかね、壮大なテーマあると思うんですけど。要はとにかく歩いていただくということ、すなわち健康と考えるのであれば、やはり高齢、例えば老人クラブだったりとか。あと実際歩いてもらうっていうのは、主となるのはやはり若者だったりすると思うんです。魅力があれば若者も昔みたいにぞろぞろ歩いてくれるのかなって思うので、高校生だったりとか、あとサービス提供側とすると、例えば米子青年会議所とか、商工会議所青年部であるとか。そういうまちづくり、魅力のあるっていうんですかね、そういう観点で関わってらっしゃるそういった団体が適任なのかなと私は考えてます。

○又野委員長 そうすると…。大下委員。

○大下委員 例えば商店街の店をされてる方とか、そういった方の意見も聞いてもいいんじゃないかと思う。実際に若者たちを受け入れられてるお店の方とか、そういった生の声

を聞いてもいいのかなと思いますし。

○又野委員長 いくつか挙げといてもよかったですかね。

〔「いいです。」と声あり〕

○又野委員長 じゃあ、そうすると委員会のほうに例として挙げるとしたら、今ですと老人クラブ、高校生、青年会議所とか商工会議所の青年部とか、商店街組合になるんですかね。最後の話だと。ていうようなところかなということ。

○田村委員 多分、商店街で商売されていらっしゃる方もみんなすべからく青年経済団体入ってますので、なので、それで終わるんじゃないですかね。

○又野委員長 商工会議所関係でということ。はい。じゃあ、老人クラブ、高校生、商工会議所というところで、はい、この分はいきたいと思います。次、移住定住ですけれども、移住定住は稲田委員だったですね。

稲田委員。

○稲田委員 真面目に、移住定住は市民の方の意見を聞きたいなというもので挙げてるんですが、想定される団体まで想定しておりませんでしたので。難しいので、実際に移住してこられた方でもその感想なり建設的な意見を伺えればいいんですけど、こういう不都合が…、まあそれも経験談の中ではありなのかなとか。あとは、要するに秘書広報課を通じてシティプロモーションに携わっていただいている方々もありかなと思いつつ、そういう方の活動の宣伝の場ではないので、さっきも言ったように、建設的な意見となるとちょっとこういう団体とかは難しい。人だったら、さっき言った実際に移住された方、願わくば米子市の何かのツール、米子市の事業を介して来られた方がいいんですけどねえ。ちょっと、ぱっとこういう団体っていうのは思い浮かびません。申し訳ありません。以上です。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 そうなると、地域おこし協力隊じゃないでしょうか。ね。米子市の事業を通してこっちに来てて移住定住に関わっている人って、地域おこし協力隊の方かなって思いますけど。

○又野委員長 門脇委員。

○門脇委員 僕ぱつと思うのは、ちょっと農業関係のことをいろいろやってるんで、農業で結構こちらへ来られて農業を始めている方いらっしゃいますんで、そういう方の考え、意見とかね。こっち来てよかったとか、こんなことがあってとか、いろいろ聞けるんじゃないかと思います。それJAさん、JAさんかな。窓口はね。

〔「新規就農者」と声あり〕

そうそう、新規就農者です。

○又野委員長 そうしますと、地域おこし協力隊とJAさんを通しての農業に携わる…。

○門脇委員 新規就農者ですね。

○又野委員長 はい。ああ、そうですね。一言で新規就農者。ていうあたりを取りあえず常任委員会のほうに提案するというのでいきたいと思います。よろしいでしょうかね。

そうしますと次、民生教育で、「子育て支援策について考えよう」は、徳田委員ですね。

○徳田委員 私も稲田委員同様にあんまり考えてなかったんですけど。採用されると思わなかったし。言われているように、子育て支援センターの職員の方は当然としまして、私がこの今回そのテーマとして起案させていただいたのは、やっぱり地域で育てる子育て支援という点で、実際、共働きの方で子育て支援センターを利用できない方については、やっぱりおじいちゃんおばあちゃんが支援してる先というのがほとんどだと思うんですね。それも含めて、そういった先がない、先についてどうやっていくかということも含めて、

地域で要は子育て支援していくという格好になるので、できたら私の思いの中では、民生委員さんとか民生児童委員さんといった方もちょっと対象に加えていただきたいなと思っております、初発の段階では。18歳までが一応私対象と考えておりますので、子育て支援は。そういった意味ではやはり高校生も未来のパパ・ママという生態も含めて、現時点で何が必要なのかっていうことを活発に議論していただけたらなというふうに思いますので。

**○又野委員長** はい。そうしますと、子育て支援センターも入れるっていうことですね。支援センターと民生児童委員さん、高校生。ちょっと思ったのは、地域のほうで子育てサークルが幾つかあるかと思うんで、そういうところにも声をかけたらいいかなと。

**○徳田委員** そこまでちょっと発想ができませんでした。

**○又野委員長** あ、いえいえ。じゃあ、支援センター、民生児童委員、高校生、子育てサークルというところで提案をするということできたいと思います。次、「投票率について考えよう」ですけれども、もともと私が考えていたのが主権者教育ということだったので、考えとしては高校生、大学生とかを想定してますので、そこら辺で声をかけれたらなあと思っておりますけれども。それでよろしいでしょうかね。田村委員。

**○田村委員** 有名な高専の加藤先生とか。

〔「おんならん、おんならん。」と声あり〕

**○田村委員** おられないの？

**○又野委員長** あ、そうだ。今もう代わったんです。

**○田村委員** あ、失礼しました。大変失礼しました。

**○又野委員長** じゃあ、高校生、大学生、高専というところで提案したいと思います。12時になりますけれども、もうやってしまうということで、いきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○又野委員長** 都市経済委員会、「人手不足が深刻！これからの働き方を考えよう」ですけれども、これが吉岡委員。

**○吉岡委員** 私も皆さんと同様で、全く団体を想定してなかったんですが、先ほどちょっと会派で話している中で、やっぱり実際に働いている方のお話を聞きたいなと思って。今こういうふうに改善したらいいのにとか、こういうふうに改善したら人が辞めなかったのにとかというのを知っておられるのは働いておられる方。団体ってということにはならないとは思いますが、例えば介護業界に働きかけて、そこにお勤めされている方に来ていただくような声かけができないかなとか、保育士さんとか。これから働くっていう方は高校生さんが来てくださるので、それでいいのかなっていうふうなぐらいしか思いつかなかったんです。

**○又野委員長** 人手不足が言われてる介護・保育分野の携わる人と高校生というところですけれども、よろしいでしょうかね。取りあえずこちらから常任委員会に提案する内容としては。

田村委員。

**○田村委員** さっき言った青年経済団体とか社長さんとか、要はそういう特定業種だけじゃなくて全産業的に人手不足なので、そういう青年経済団体にも言ったらどうかなと思います。

**○又野委員長** 商工会議所関係で。

**○田村委員** そうですね。JCとか。

○又野委員長 商工会議所も含めて高校生、あと介護・保育も関係するところにちょっと声かけたらというところで提案をしていきたいと思います。

次、「公園の利活用について考えよう」ですけれども、これが吉岡さんと錦織委員。

錦織委員。

○錦織委員 ちょっと私のイメージとして何かずらずら書いてたんですけど、やっぱり子育てしてる人に愛される公園だと人がいっぱい集まってくるんじゃないかなっていうようなことを思っていますので、子育てサークルだとか、それから老人クラブ、それから高校生とかね、そういった人たちにも何かそれなりに要求があるんじゃないかなとか思っていますので。それぐらいかな。あと危機管理とか防災とかっていうことまでイメージで膨らませると、自治会とかね、そういうところも入れるのかなと思いますけど。

○又野委員長 吉岡委員は。

○吉岡委員 あ、私もですか。

○又野委員長 どちらでも。

○吉岡委員 では、委員長。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 難しいかなとは思いますが、犬を飼っておられる方とかが何かその塊になっている、声かけられるような組織があれば、お散歩とかで利用されたりとか、ドックイベントとかも結構弓ヶ浜公園とか皆生でされてるので。ちょっと声かけが難しい。ピンポイントになっちゃう。難しいかなと思ったんですけど。あとはイベント主催者かな。イベント主催をされるような団体さんに、それこそ使う側としての御意見を聞くっていうのもありかなとは思いますが。すみません、あんまり案がないです。

○又野委員長 いえいえ。結構数が出まして、子育てサークル、老人クラブ、高校生、自治会。あと、犬を飼っている人とイベント主催者ということで。いいですかね、取りあえずそれを提案して。田村委員。

○田村委員 犬、申し訳ないんですけど、うちの近くにある公園、基本、犬ちょっと御遠慮みたいなの。よそは分かりませんよ。だけど、要は糞尿をするんで。便は取るにしても、結局、子供らが遊ぶところにそういうものを連れて行くっていうのはちょっと御遠慮っていうような考えを持つ自治体も自治会もあるということなので。そこはちょっと政治的に難しいのかなと。だからそういう人はもうドッグラン、日野川に行ってくださいっていう感じになってるんじゃないかな。すみ分けっていうんですかね。今まではそういうのをやってらっしゃる方いたんですけど。ていう感じなので。あと何か子どもにね、じゃれついたりとかっていうと怖いからもう行かないとかね。そういうのがあったりしたんで。はい、以上です。

○又野委員長 犬飼ってる人はちょっと今回はあれにしましょうか。イベント主催者っていうのは、どういうところに声かけたらあれなんですかね。

(「青年会議所？」と声あり)

○又野委員長 になるのかな、結局そこら辺を。

○大下委員 イベントとかになると、かなり大きい公園じゃないとできなくなるんで、これって全般の公園で出てるの？

○吉岡委員 そこも、そこも関係してきますよね、多分。

○大下委員 だから、何かそこを今回全般のものなんで、小さいものも含めた…。

○吉岡委員 だからさっき。これで言ったほうがいいのか。田村さんが言われたように、ぶつかっていないような公園の利活用を考えるって絞ると、そこが排除してくると思うん

ですよ。広く考えちゃうと、そういうのも入ってきちゃうから、もし今回そういうところに絞るんだったら、団体も絞れる。論点も絞れるかなというふうに思います。何か、ちゃんとは決まっていけど、ふんわりそういう方向だっということになると、イベント主催者は除外になってくる。で、地域の公園ということになると、やはり自治会の方々とかに来ていただくっていうふうになるのかなと思います。

**○大下委員** 近くで大きいところは結構イベントとかして集客ばーってして、そんなイメージなんですけど、やっぱり小さい朝日町の公園とか、式典に行ったときはそういうふうに子どもが来とるけど、じゃあ今はって言ったら、誰もいないみたいな。

**○吉岡委員** 小っちゃい公園とか、誰が使ってるのかなっていうようなところがあります。

**○又野委員長** 稲田委員。

**○稲田委員** いや、関係なくて。これ議事録残るやつですよ。だからテープ起こしするときに何委員が発言してるか分からなくなるので、もしそうであれば休憩を入れてやって。でなければ、委員長の許可を得て発言するようにしないと、多分もう文字起こしがもうめちゃくちゃになりますので。よろしくお願いします。

**○又野委員長** すみません、失礼しました。そうすると一応対象としては、じゃあこれを挙げて、常任委員会であとは絞ってもらうということによろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○又野委員長** はい、ありがとうございます。そうしますと各常任委員会に話を持っていく分は決まりまして、議会報告会のタイトルですけれども、この「議員と語ろう」っていうふうに作業部会になって、その下に一応「議会報告会」っていうふうに、表示するときとかはしたいというイメージで考えてやってください。「議員と語ろう」というふうに作業部会で決まりましたけれども、広報広聴委員会としてもそれでいくということによろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○又野委員長** ありがとうございます。じゃあ、それで議長にも報告をしたいと思います。議会報告会については以上でよかったですかね、田村次長。

**○田村事務局次長** はい。

**○又野委員長** ほかに決定事項は。大丈夫ですね。はい。続きまして、議会だよりについてですけれども、今回はどうこうということではないんですけれども、皆さん御承知か、まあ御承知でない方もおられるかもしれませんが、会長・幹事長会議において、議会だよりの経費が増加傾向にあるということで、来年度も予算要求で増加増額しているということがありました。そこら辺の今後の経費削減を考える点からですね、議会だよりの在り方とか、枚数とか紙の質だとか、そこら辺を検討してはどうかという提案がですね、会長・幹事長会議でありまして。私も出席してましたんで、ちょっと広報広聴委員会のほうに諮ってみますという返事をさせていただきました。皆さんもこの間、視察等でいろいろ行っておられると思います。議会だよりとか、それぞれの視察先で手に取られることもあったと思いますし、広報広聴委員会のほうでも、もう根本的なところから考えていくとかもしてもいいのかなと私も思いまして。またね、議論ができたらなと思っておりますけれども。そこら辺の、どういうふうに議論をしていくとかっていうのも今後考えていくことになりましたけど、取りあえずですね、議会だよりの在り方っていうのを考えていく事を進めていくということを承知していただければなと思ひまして。よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○又野委員長** じゃあ、その方向でちょっと進めていきたいと思ひます。

吉岡委員。

○吉岡委員 改選時に広報広聴委員会である程度話していると思うんですけど、多分それはやっぱり何か継続ができていないなと思っていて。また一からになるよりは、そこもう一回踏まえてしたほうがいいかなっていうのと、あと、もし可能であれば、全国の議会だよりのページ数と紙質の傾向みたいなものが分かるデータがあると議論の材料になるかなと思いますけど。事務局が用意してくださればいいかなと思います。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 あれば、という程度でいいんじゃないでしょうか。私も一時は以前この委員に属していたときは、出向く先で必ず許可をいただいて持って帰ってて参考にさせてもらいましたけど、まさに千差万別というか。大きいのだとタブロイド版というんですかね。B4の縦の見開きだから、開くとB3の夕刊紙の、東京にある何ていうのかな、ああいうぐらいな大きさのところもありますし、もちろん我々から見たらもう3分の1、4分の1ぐらいしか載ってないのがあったりとかします。あとは内容もすごく写真とか雑誌に近いようなイメージのもあれば、文字中心のものもあって。もしサンプルという話になれば我々のほうで…、あ、でもちょっと違うな。やっぱりある程度、どう言えばいいの。大きさはこうでとか、見てやらないと、情報だけ多くなって多分決めることが難しくなると思います。あとは聞き先だったら全国市議会議長会ぐらいに聞いてみるのはあると思いますけど。ほかはちょっと難しいと思いますけどね。以上です。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 なかなかまとまったものがないっていうことだと、一から調べていただくのは大変かなと思うんですけど、そのページ数を減らしたり、大幅に変えるとか予算を減らしていくっていうことについて市民の方に御理解を、今の冊子のがすごい楽しみだっている方もいらっしゃるかもしれないので、御理解を得ていただくための材料として、全国的にはもうこういう傾向ですよみたいなのが分かるといいのかなっていうふうに思った次第ですので、あればということですね。私たちが行った先でたまたまこうただけではなくて、全国的にああいうスタイルが増える、フリーペーパー的なものが増えるっていうことであれば、市民の方にもそういうふうに納得していただくということにもなるかなとは思っていますので。そういう意見です。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 私も前職でいろいろそういう印刷関係の経験があるんですけど、結局、版下の問題だと思うんですよ。版下、いわゆるプラットフォームっていうか。それで、例えば今、稲田委員が御提案があったような格好でタブロイド版にした場合、全く版下が変わってくるわけですよ。そこでのやっぱり製造コストだとか、印刷コストっていうのも踏まえて、逆に経費がかさむ場合もこれ想定しないといけませんので。そうすると紙幅の幅を縮めるぐらいしか方法的に今のところやり方はないのかなっていう気がしますし、実際タブロイド版で印刷できる業者が今の段階でいらっしゃるのかどうかということも、道筋としてはやっぱり立てておかんといけんと思います。今のコストで変わらないっていうのが前提で、今の時点でやっぱ増えとるわけですから、これからも経費がかさむということもありますし。それを前提で踏まえて見積りなり試算なりをしっかりとって、そのスタイルはタブロイド版にした方がいいのかどうかというのは、その後の段階だと思いますので。

○又野委員長 なるほど。そしたら印刷会社さんとも相談をして、そこを、本当ですね。一番最初にせないけんところかなと今思っています。

門脇委員。

○**門脇委員** ちょっと定かではないんですが、市議会だよりとか何かって、あれ全国のやつで優秀なやつとか、1位とか2位とか、あんなあるんじゃないかな。全国区。そんなの、え？ないか。

○**又野委員長** 何かありましたよね。

○**門脇委員** そんなのがもし参考にできれば。あまり多くじゃなしに、ああ、こんなのがって。多分そういうのがあれば、ちょっとは参考に。米子市とどれくらい違うかっていうのも参考にはなると思うんですけど。

○**錦織委員** 大山町をちょっと参考にしたらいいんじゃないですか。

○**門脇委員** ああ、そうです、そうです。

○**又野委員長** 何か受けてましたね、大山町の分。

○**門脇委員** そんなのがあれば、ちょっと見てみたいと思います。

○**又野委員長** ごめんなさい、何かあれば手を挙げて。大下委員。

○**大下委員** もう減らしてる自治体もあると思うんで、その事例も調べてみられたほうがいいんじゃないかなと思いますし、今後ペーパーレス化していくっていう段階で、それで多分それも交えて経費を削減している団体の事例をちょっと調べていただきたいと思うんで、よろしくお願いします。

○**又野委員長** 稲田委員。

○**稲田委員** それって、経費を減らしたところを抽出してきて調査せよっていう。

○**大下委員** まあ、どういうふうにしておられるか。

○**稲田委員** その全国にある、何百もある市から、かなりその調査量がかさむような気がしますが。コンクール受賞されているところを見て、うちとひとまず近いなど、最近タブロイド版やってますとか、何十ページもありますとかじゃなくて。そういうところがどういう取組されましたかっていう、その、そういうふうに指示をしないと、ただ単にコスト削ったところをどこか探してこいっていうのは、ちょっと私はオーダーとしては乱暴だと思うので、県内4市聞いて、あるいは山陰両県の市聞いて、加えてコンクールのところでうちと比較的近いなっていうところを参考までに聞かれるぐらいでいいんじゃないでしょうかね。ただ、そこの人口規模とか背景とかもありますので、すごくそこは何て言うのかな、背景聞いてマッチするかどうか微妙だと思いますよ。以前のお話をすると長くなるので今日はいたしません、そこら辺を材料をそろえてもらって、着地点を見出せばいいんじゃないでしょうかね。はい、以上です。

○**又野委員長** 大きな方向というか進め方としては、これまでの議会だよりの在り方について広報広聴委員会でどんな意見が出たのかっていうところと、サイズをもし変えたりする場合とか、事前にやっぱりそれが削減になるのかどうかというところを印刷会社さんにも確認を当然しとかなきやいけないというところと、全国的な参考になるので言えば、そういうコンクールとかで表彰を受けた分にある程度絞って調べてみるというところを取りあえずやっていけたらなと思いましたがけれども、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○**又野委員長** じゃあ、それでまたちょっとどの段階で具体的に話するかどうかっていうのは、事務局のほうとも相談しながら御連絡させていただきたいと思いますんで、よろしくお願いいたします。ほか、何かございましたでしょうかね。

○**田村事務局次長** またちょっと御相談させていただきたいんですけども、開催日、5月10日午後からということになってますけれども、時間なんですけど、ある程度、何時から何時ってところがもし大枠でも、また次の機会でもいいですので、考えておいてい

ただいて決めていただけたらと思いますけれども。

○又野委員長 時間ですね。

○田村事務局次長 時間ですね。何時から何時ぐらいまでみたいところ。次回で結構です。はい。

○又野委員長 今のところ午後っていうふうになってますね。一応午後で取ってはあと思うので、あとは細かい時間は、実際にお知らせする段階までに決めたらいいかなと思います。

○田村事務局次長 なるべくちょっと早めに、コンベンションのほうに時間をお伝えしないといけなくて。ちょっと待っていただいているところがありますので、来月でも構いません。

○徳田委員 いいんじゃないですか、決めれば。

○門脇委員 準備する時間取っとかにやいけんもんね。

○錦織委員 この前は準備する時間を取り過ぎたっていうような話でしたよね。

○又野委員長 ありましたね、そういう話が。じゃあ、ちょっと休憩を入れさせてもらいます。

午後00時22分 休憩

午後00時25分 再開

○又野委員長 再開をいたします。

議会報告会の時間ですけども、13時に準備のため集合、13時半から開場して受付。で、実際の報告会が始まるのは14時からということで、時間は1時間30分ですね。としたいと思いますけれども、皆さんよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○又野委員長 では、それで議会報告会の時間日程決めたいと思います。ありがとうございます。よろしいですかね。ほかに何か委員の皆さんからはありますか。

〔「なし。」と声あり〕

○又野委員長 では、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございます。

午後00時26分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 又 野 史 朗